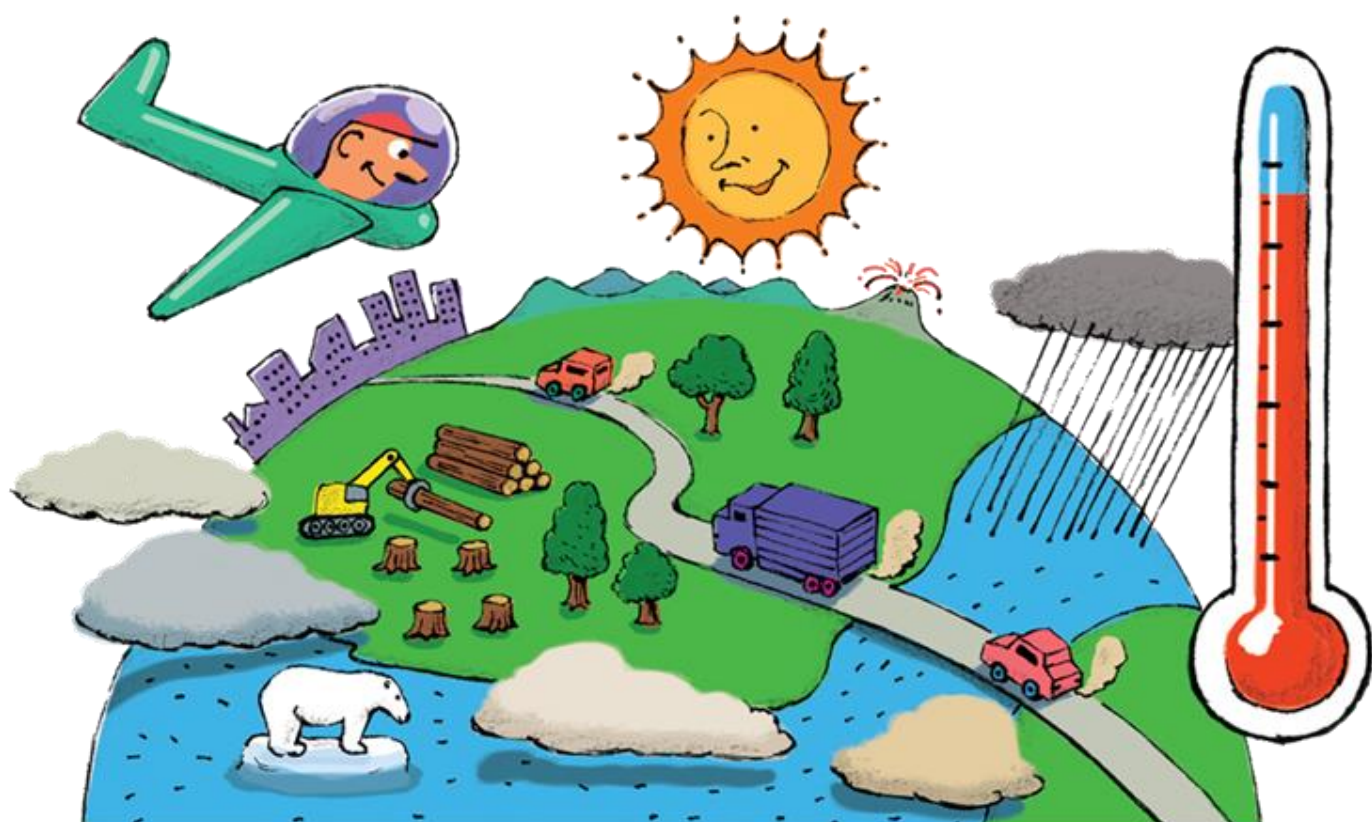


「循環・共生・協働のまち みたか」を目指して



三鷹市 環境レポート 2025



「出典：もっと先の未来を考えるエコ・マガジン(環境省)」

<https://www.env.go.jp/guide/info/ecojin/feature1/20231004.html>

令和7年10月
(令和6年度の取り組みの成果)

三鷹市

「高環境・高福祉のまちづくり」を進め 「循環・共生・協働のまち みたか」の実現を目指します



地球温暖化をはじめとする気候変動の影響が人類にとって喫緊の課題となる中、平成 27 年には「持続可能な開発目標(SDGs:エスディーゼーズ)」を掲げる「持続可能な開発のための 2030 アジェンダ」や「パリ協定」の採択など国際的な合意がなされました。

日本では、「2050 年までの二酸化炭素排出量実質ゼロ」を目指す地方公共団体、いわゆるゼロカーボンシティは、令和元年9月時点ではわずか4地方公共団体でしたが、令和7年6月 30 日時点においては 1182 地方公共団体となり、加速度的に増加しました。

三鷹市では令和4年 12 月に「ゼロカーボンシティ」を宣言しています。

そして、このゼロカーボンシティの実現に向け、令和6年3月には、「三鷹市地球温暖化対策実行計画(第4期

計画)」の第1次改定を行い、令和7年3月には「三鷹市環境基本計画 2027」を策定しました。三鷹の環境保全を考えるうえで、施策の必要性や優先度を見極め、実効性に重点を置き、より一層環境施策を展開していきます。

本レポートは、世界、日本、そして三鷹市が抱える環境課題の解決や目指すべき社会の実現に向けて、市が取り組む環境施策等の成果などを、市民の皆様をはじめとする様々な関係者の皆様にお伝えすることを目的に発行しています。

今後も、「高環境・高福祉のまちづくり」の推進による「循環・共生・協働のまち みたか」の実現に向けた取り組みへの、幅広い市民の皆様、事業者の皆様のご参画をお願いいたします。

三鷹市環境方針

基本理念

三鷹市は、地球温暖化をはじめとする気候変動による影響が人類共通の課題であることを認識し、市民及び事業者等との協働により「高環境・高福祉のまちづくり」を進め、三鷹市の目指す環境像「循環・共生・協働のまちみたか」の実現と、2050 年までに温室効果ガス排出量を実質ゼロにする「ゼロカーボンシティ」を目指します。

また、「持続可能な開発目標=SDGs」の理念を認識し、世界共通の目標達成に向けて、地球的な視野で環境に配慮した活動を進め、環境・経済・社会の統合的向上のもと、人と自然が共生する持続可能なまちづくりを推進します。

三鷹市環境方針は、市長が決定する市役所全体で取り組む環境保全、環境負荷低減等に関する声明です。

基本方針

- (1) 全職員が、事務事業の中で率先垂範して環境への貢献及び環境負荷低減に努め、継続的改善により、環境面の成果の向上を目指します。
- (2) 気候変動による影響に対して、緩和策及び適応策の両輪による取り組みを進めます。
- (3) 環境に関連する法令等を順守し、市民の生活環境と健康を守ります。
- (4) 省エネルギー・省資源行動等により、持続可能な資源の利用を推進します。
- (5) 公共施設の環境対策に取り組めます。
- (6) 都市空間における自然環境の保全に努めます。
- (7) 三鷹市環境方針や取り組みの成果等を、市民に広く公表します。

令和5年(2023 年)12 月 19 日

⇒三鷹市は、本環境方針のもと、事務・事業に取り組めます。

高環境・高福祉のまちづくり ～循環・共生・協働のまち みたか～

三鷹市は、「高環境・高福祉のまちづくり」の推進により、環境像である「循環・共生・協働のまち みたか」の実現を目指し、4つの目標を定め、様々な取り組みを推進しています。

地球規模の環境問題は、市民や事業者、自治体等が主体的にかつ協働で取り組んでいく必要があります。中でも地球温暖化は、生態系への影響など私たちの暮らしに様々な影響を及ぼすものであり、私たち人類共通の喫緊の課題です。そして、地球温暖化を防止するために、その原因である温室効果ガスの排出抑制に取り組んでいく必要があります。

さらには、私たちの暮らしが快適で、「三鷹らしい」暮らしを維持し、次世代に継承していくために、三鷹市に残る自然を守り、生物多様性の保全を図りながら、自然と共生する良好な環境を目指していきます。

● 4つの環境目標

1 ゼロカーボンシティの実現



2 ごみの減量・資源化・適正処理



3 安全で快適な都市環境



4 人と自然の共生



三鷹市が目指す温室効果ガス削減目標

第4期三鷹市地球温暖化対策実行計画（第1次改定） 令和6年3月

三鷹市は令和5（2023）～12（2030）年度までの8年間で、排出される温室効果ガスを2030年度に50%削減します。（2013年度比）

主な検討事業

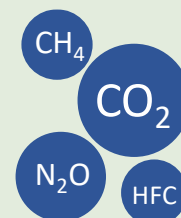
- ◆市域で使う再エネ電源の確保
- ◆カーボンオフセット
- ◆公用車を活用したEVカーシェアリング
- ◆自治体新電力を活用した電力の脱炭素化

ゼロカーボンに向けた基本方針

- ◆ エネルギーを【減らす】: 省エネルギー設備の導入、ライフスタイルの転換
- ◆ エネルギーを【創る】: 太陽光発電設備の導入を促進、EV電源としての充電インフラ整備を推進
- ◆ エネルギーを【賢く使う】: 再エネ電気の平準化など、エネルギー効率を向上
- ◆ 持続可能なまちづくりに【活かす】: 脱炭素とともに地域課題を解決、災害レジリエンスを向上

市の事務及び事業の取り組み

- ◆ 更なる省エネルギー活動等の推進
- ◆ 温室効果ガス削減に寄与する公共施設や設備の更新・改修・管理
- ◆ カーボン・マネジメント体制(みたか E-Smart)の運用
- ◆ 職員の日常的な事務及び事業における省エネ活動



環境貢献の取り組み ～取り組みを進めるための仕組みと成果～

三鷹市では、各課の職員が、環境課題を解決するための目標を設定し、事務・事業に取り組んでいます。取り組みにあたっては、SDGsへの繋がりなどを認識し、将来的なゴール達成への貢献を目指しています。

●「みたか E-Smart」

三鷹市環境マネジメントシステム「みたか E-Smart」は、SDGs の理念等を認識し、自らの事務事業の成果と環境への貢献を同時に実現することを目的とした、三鷹市独自の環境マネジメントシステムです。

職員による環境活動の推進に係る仕組みであり、取り組みによる市民サービス・成果は、市全体や地球環境へ貢献します。

各職員は、市長が決定した「市が優先的に取り組む環境課題」の解決に向けて、環境負荷低減・環境貢献に資する取り組みを実施します。

取り組みは、各ステップ(計画(Plan)-実行(Do)-点検(Check)-見直し(Act))によって継続的に運用、改善を図ります。

●「みたか E-Smart」の推進体制

「みたか E-Smart」は、市長をトップとした推進体制のもと、取り組みの進捗管理や定期的な評価、改善・見直し等を実施し、成果の向上を図っています。

実際に取り組みを実行する、各部・課の職員は、それぞれの立場、役割を認識し、日頃の業務の中で環境に配慮した取り組みを推進しています。推進体制図▶

【管理・統括】

- ・定期的な取組状況の評価
- ・改善、見直し等の指示 など

●管理項目

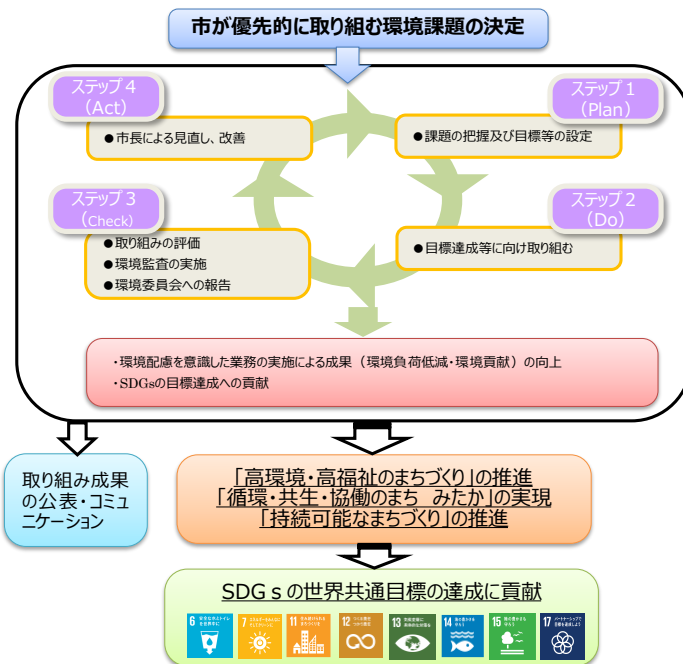
- ・三鷹市環境基本計画
- ・三鷹市地球温暖化対策実行計画
- ・省エネ法
- ・各環境マネジメントシステム

【実行・推進】

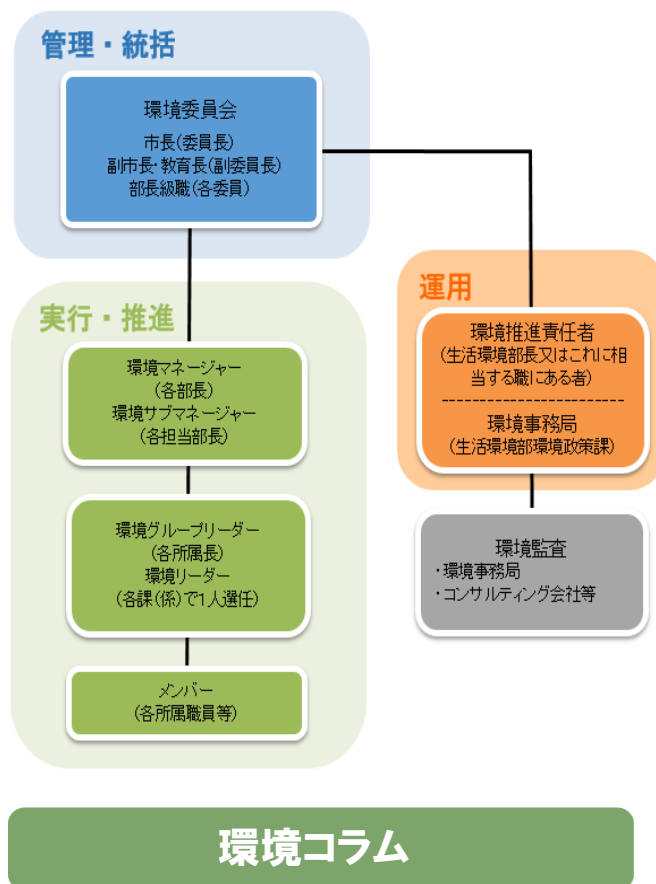
- ・目標、計画等の設定
- ・環境活動等の実行・推進
- ・実施結果の評価・報告
- ・改善事項等の提案 など

【運用】

- ・実施状況のとりまとめ
- ・指示事項の周知
- ・環境委員会の運営・庶務など



▲みたか E-Smart の仕組み



ゼロカーボンシティの実現に向けた取り組みの一環として、井の頭コミュニティ・センター(本館)の屋上に「薄型軽量の太陽光発電設備」を設置し、令和7年3月に電力供給を開始しました。これにより年間約6tの二酸化炭素排出量の削減効果が期待できます。

また、市民センターでは令和7年3月に「実質再エネ 100%電気」への切り替えを行いました。これにより、市民センターから排出する二酸化炭素排出量を年間約 940t 削減することができます。さらに、令和7年4月には、市民センターのカーボンオフセット都市ガス(二酸化炭素排出量が実質ゼロの都市ガス)への切り替えも行いました。これにより、二酸化炭素排出量を年間約 25t 削減できます。

●エネルギー使用量等削減の取り組み

地球温暖化を防止するためには、市民、事業者、自治体等、各主体による積極的な温室効果ガスの排出削減を推進することが必要です。

三鷹市は、地域で活動する一事業者として、市の事務事業から排出される温室効果ガスを削減するために、電気、ガソリン、軽油、都市ガス等の使用量の削減に全庁を挙げて取り組んでいます。

◆エネルギー使用量・温室効果ガス排出量の状況

令和5年度のエネルギー使用量は、基準年度（平成 25 年度）と比較して、都市ガス以外の対象項目では全て減少しています（表1）。

令和5年度の温室効果ガス排出量全体は、基準年度に対して約 14%減少しています。

令和5年度の内訳としては、「電気使用」に伴う温室効果ガス排出量の割合が約 74%（9,766t-CO₂）、次いで「燃料使用（都市ガス）」に伴う割合が 19%（2,572t-CO₂）でした（図1）。「燃料使用（都市ガス）」は基準年度と比べて約 0.5%増加しています。

表1 エネルギー使用量の状況（三鷹市役所）※

対象項目	単位	基準年度（H25）	R5
燃料使用量	ガソリン	L	27,983
	灯油	L	108,381
	軽油	L	5,956
	A 重油	L	12,483
	LPG	kg	31,871
	都市ガス	m ³	1,184,663
電気使用量	kWh	22,437,047	21,857,828

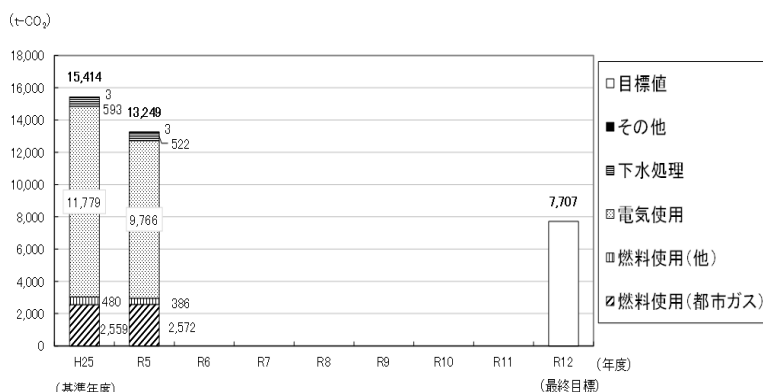


図1 温室効果ガス排出量の状況（三鷹市役所）※

※本レポート発行時の三鷹市温室効果ガス総排出量等実態調査報告書の最新確定値である令和5年度実績を記載

三鷹市の主な取り組み

職員は、日常業務において、職場の照明・空調機器等の設備運用面における改善やコピー用紙使用量の削減に努めるなど、省エネ・省資源行動を推進しています。

◆太陽光発電設備導入状況

導入年度	施設名	最大出力
H13	高山小学校	3.34kW
H21	市役所本庁舎	3.6kW
H22	東台小学校	30kW
H23	第二小学校	10kW
H24	第三小学校	30kW
H28	南浦小学校※1	21.2 kW
	第三中学校※1	21.2 kW
R6	井の頭コミュニティ・センター（本館）※2	14.2kW

※1 蓄電池を同時設置

※2 薄型軽量の太陽光発電設備を設置

◆その他の新エネ・省エネ設備等導入状況

導入年度	施設名	設備名	導入数
H21	市役所本庁舎	真空複層ガラス	-
H22	市役所第二庁舎	真空複層ガラス	-
		LED 照明器具・高効率照明器具	673 台
H26	市役所本庁舎	LED 照明器具	1,600 台
H28	市内街路灯	LED 照明器具	10,821 台
	三鷹中央防災公園・元気創造プラザ	ふじみ衛生組合の廃棄物焼却による電力・余熱供給	-
H30	各所管課 公用車	電気自動車※3	2台
R1			2台
R2			3台
R3	全市立小中学校	ソーラー充電・蓄電池	22 台
R4	市民センター公用車	PHV 自動車	1 台
	小型 EV 車両（市内）	電気自動車	2 台
R5	所管課 公用車	電気自動車	1 台
R6	所管課 公用車	電気自動車	2 台

※3 外部給電装置を同時購入

●「市が優先的に取り組む環境課題」と環境貢献の取り組みの成果

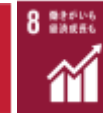
三鷹市では、毎年、地球規模の課題及び社会情勢等を鑑みて市長が「市が優先的に取り組む環境課題」を決定します。（令和6年度は右表の3つの課題）

各課の職員が、この環境課題を解決するために環境貢献の目標を設定し、事務・事業に取り組んでいます。取り組みにあたっては、SDGs への繋がりなどを認識し、将来的なゴール達成への貢献を目指しています。以下は、取り組みの一部を抜粋したものです。

★市が優先的に取り組む環境課題★

- ① 2050 年ゼロカーボンシティへ向けての実行..... 13 件
- ② 地球温暖化をはじめとする気候変動への対応..... 35 件
- ③ 資源の保全..... 41 件

令和6年度「市が優先的に取り組む環境課題」	課の目標 （主な取り組み）	課名	関連する SDGs のゴール （先頭は最も関連のあるゴール）	実績
①2050 年ゼロカーボンシティへ向けての実行	公共施設の設備更新における積極的な省エネ機器の導入の推進	コミュニティ創生課	7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに 3 すべての人に 健康と福祉を 11 住み続けられる まちづくりを 12 つくる責任 つかう責任 13 気候変動に 適応する 17 パートナーシップで 目標を達成しよう	・井口コミュニティ・センターの空調設備の改修設計業務を予定通り実施し、令和7年度工事に向けて準備を行った。 ・駅前コミュニティ・センターの受変電設備の改修工事を予定通り実施し、令和7年度工事に向けて準備を行った。 ・井の頭コミュニティ・センター本館屋上へ太陽光パネルを設置した。
	学校施設への省エネルギー設備導入	総務課	7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに 4 質の高い教育を みんなに 9 産業と技術革新の 基盤をつくろう 11 住み続けられる まちづくりを 12 つくる責任 つかう責任	・市立小・中学校2校のLED化を完了した。また、市立小・中学校の空調機器の内部洗浄及びフィルター清掃についても滞りなく実施し、エネルギー効率の向上に寄与した。
	新エネルギー・省エネルギー設備設置助成金の実施	環境政策課	7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに 11 住み続けられる まちづくりを 13 気候変動に 適応する 17 パートナーシップで 目標を達成しよう	・新エネルギー・省エネルギー設備設置助成金 25, 004, 000 円交付 ・申請数内訳：太陽光発電 126 件、蓄電池 160 件、エコキュート 42 件、高断熱窓 34 件 ・新エネルギー導入助成による最大出力の累積値は令和6年度までで約 5, 951kW となった。
	協働による環境啓発事業の実施、人財の育成	環境政策課	4 質の高い教育を みんなに 11 住み続けられる まちづくりを 12 つくる責任 つかう責任 13 気候変動に 適応する 14 海の豊かさ を守ろう 15 陸の豊かさも 守ろう	・委員からの積極的な意見を踏まえて委員研修や環境イベントを企画し実施した。ふじみまつりや環境講座では、委員が説明に立ったり講師を務め、委員自身が企画や議論だけでなく、イベントの推進役を担ったりすることで、地域における環境活動のリーダーとして貢献し、活動の広がりを見せた。
	クリーンプラザふじみでごみの焼却時に発生する熱を利用したエネルギー回収の推進	ごみ対策課 芸術文化課	7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに 9 産業と技術革新の 基盤をつくろう 11 住み続けられる まちづくりを 12 つくる責任 つかう責任 13 気候変動に 適応する 17 パートナーシップで 目標を達成しよう	・三鷹中央防災公園・元気創造プラザにおいて、ふじみ衛生組合の「クリーンプラザふじみ」からごみ処理過程で生じる熱源等が温水を通じて計画的に供給され、環境への配慮（温室効果ガスの排出抑制や環境負荷の低減）とランニングコストの低減を図った。
	中小企業等産業活性化補助金の実施	生活経済課	9 産業と技術革新の 基盤をつくろう 3 すべての人に 健康と福祉を 7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに 11 住み続けられる まちづくりを 12 つくる責任 つかう責任 13 気候変動に 適応する 17 パートナーシップで 目標を達成しよう	・想定よりも早い段階で予算上限額に達成するなど、本補助事業へのニーズは高く、特にグリーン枠においては、前年度申請件数0件から10件へと申請数が増加し、LED 照明器具や空調機器の交換等による環境負荷低減につながる取組を支援した。

令和6年度「市が優先的に取り組む環境課題」	課の目標 (主な取り組み)	課名	関連する SDGs のゴール (先頭は最も関連のあるゴール)	実績
②地球温暖化をはじめとする気候変動への対応	気候変動に対する適応策の推進	防災課	   	出前講座においては令和5年度計 73 回に対して令和6年度は 103 回と前年度を大幅に上回る回数を実施し、身近に潜むハザードや災害等の行動ルートについて周知を行った。
	気候変動に対する適応策の推進	健康推進課	 	37 の公共施設をクーリングシェルターに指定した。また、各施設にウォーターサーバー等を設置する度にホームページを更新し、周知を図った。
	夏場における安全なスポーツ活動の推進(熱中症対策)	スポーツ推進課	   	- 猛暑時期に向けて熱中症特別警戒アラート発令時の対応や予防法について周知に取り組んだ。 - 施設では黒球式熱中症指数計や気温・水温計を用いて、未然の予防対策に取り組んだ。
	気候変動に対する適応策の推進	水再生課	    	- 雨水浸透ますの令和6年度の設置実績は 2,917 基、令和6年度までの累計は 85,898 基となった。 - 下水道施設の長寿命化事業、地震対策事業を予定通り円滑に行うことが出来た。
	気候変動に対する適応策の推進	緑と公園課	 	借地公園の公有地化を進めるために、北野公園の土地の一部を取得した。
	都市農地の保全・活用	都市農業課	     	三鷹市優良農地育成事業により各農業者が、農業ハウスや、農地管理及び農産物を効率的に搬送する機械類など先進的農用設備を導入することにより、より一層の効率化や売上向上が図られた。
	生物多様性の保全と利用の取り組み	まちづくり推進課	  	北野の里（仮称）における緑や農地の役割を再確認し、持続可能な自然共生のまちづくりを地域住民とともに進めている。具体的には、北野情報コーナーを拠点とし、グリーンインフラについての情報発信、緑と農の有する多様な機能を学ぶ活動を継続的に実施した。

令和6年度「市が優先的に取り組む環境課題」	課の目標 (主な取り組み)	課名	関連する SDGs のゴール (先頭は最も関連のあるゴール)	実績
③資源の保全	紙使用量の削減	企画経営課 広報メディア課 財政課 情報推進課 市長室 政策法務課 相談・情報課 労働安全衛生課 市民課 市民税課 資産税課 納税課 保険課 スポーツ推進課 地域福祉課 障がい者支援課 介護保険課 子ども家庭課 保育支援課 子ども育成課 子育て支援課 議会事務局 指導課 監査事務局 まちづくり推進課 教育施策推進室 選挙管理委員会事務局	           	- 市刊行物の電子書籍化を行った。 - Microsoft Teams を活用した資料・情報共有を積極的に活用し、紙の使用量を削減した。 - 調査やアンケートの LoGo フォームの活用によりコピー用紙を削減した。 - 集約印刷(2 in 1)、裏紙利用、両面印刷及び定例会議のペーパーレス化の推進により、コピー用紙を削減した。 - 電子申請、電子申告により書類等紙の使用量の削減を図った。 - スマホ・クレジット決済や SMS による納付勧奨、調査業務でのオンライン活用により、再生紙の使用量を削減した。 - メールでの資料送付、電子データによる提供を心掛けるなど、紙の削減意識を持ち業務に取り組んだ。
	食品ロス対策事業の実施	防災課	    	新型コロナウイルスが落ち着いたことによる、防災出前講座などの回数の増加、防災訓練や防災出前講座等の際に市で備蓄しているアルファ米を市民に試食してもらったこと、缶入非常食を防災啓発品として配布したことで市民の防災意識の啓発につながった。
	食品ロス削減プロジェクトの推進	ごみ対策課	      	食品ロス削減に関する懸垂幕を作成。10 月の食品ロス削減月間に市役所前に懸垂幕を掲げ、広報みたか、ホームページで市民等へ食品ロス削減を呼びかけた。10 月 28 日、31 日にはごみ減量・リサイクル協力店のうち 4 店舗と連携し、食品ロス及びプラスチック削減キャンペーンを実施し、チラシ 200 枚、啓発品(カトラリー394 個)を配布し、食品ロス削減に向けた啓発活動を行った。
	電子申告、電子申請等の普及	市民税課 スポーツ推進課	      	- 令和 6 年度末の法人市民税電子申告割合は 90.9%であり、前年度比 4.9%増加し、目標を上回る結果であった。 - アプリ上でのイベントを開催した(タッタカくん! ウオーク&ラン)。 - 事業周知については、LINE の活用を行った。
	天然資源の使用抑制	土地対策課	 	市外も含め、移動は可能な限り自転車を利用し、自動車の場合は電気自動車を利用することで環境負荷削減を行った。

●SDGs ゴール解説

【各ゴールの内容（環境面のゴール）】

飢餓をゼロに	安全な水とトイレを世界中に	エネルギーをみんなに そしてクリーンに	住み続けられる まちづくりを	つくる責任 つかう責任
				
飢餓をなくし、生きていくために必要な食料を安定して手に入れることのできる権利を保障し、栄養状態を良くして、持続可能な農業を進める	水と衛生的な環境を管理して、誰もが水と衛生的な環境を得られるようにする	安価で、安心して発電でき、持続可能で近代的なエネルギーをすべての人が使えるようにする	まちや人々が住んでいるところを、だれもが受け入れられ、安全で、災害に強く、持続可能な場所にする	持続可能な方法で生産し、消費する
【キーワード】 ・ <u>食品ロス削減</u> ・ <u>飢餓の撲滅</u> ・ <u>農業の推進</u>	【キーワード】 ・ <u>水資源の保全</u> ・ <u>節水</u>	【キーワード】 ・ <u>再生可能エネルギーの活用（太陽光発電等）</u> ・ <u>節電</u>	【キーワード】 ・ <u>まちづくり</u> ・ <u>安全安心</u> ・ <u>快適な公共交通</u>	【キーワード】 ・ <u>3R（リサイクル等）</u> ・ <u>環境に配慮した物品の購入</u> ・ <u>省資源（紙など）</u>

【各ゴールの内容（環境面のゴール）】

気候変動に 具体的な対策を	海の豊かさを守ろう	陸の豊かさも守ろう	パートナーシップで目標を達成しよう
			
気候変動とその影響を軽減するために、すぐに行動を起こす	海と海洋資源を守り、持続可能な利用を促進する	陸の生態系を保護・回復し、持続可能な利用を行う。森林の持続可能な管理をし、砂漠化、生物多様性の喪失などを止める	目標達成のために必要な行動を強化し、持続可能な発展に向けて世界の国々が協力する
【キーワード】 ・ <u>省エネ</u> ・ <u>適応策（熱中症予防、災害対策）</u> ・ <u>節電</u> ・ <u>CO2削減</u>	【キーワード】 ・ <u>プラスチックの削減、適正処理</u> ・ <u>良好な水質</u> ・ <u>魚類資源</u>	【キーワード】 ・ <u>生態系の保護</u> ・ <u>紙使用量の削減</u> ・ <u>緑化推進、樹木の保全</u>	【キーワード】 ・ <u>色々な市民、団体等との連携、協働</u>

【各ゴールの内容（その他のゴール）】

貧困をなくそう	すべての人に健康と福祉を	質の高い教育をみんなに	ジェンダー平等を実現しよう	働きがいも経済成長も
				
世界中のあらゆる貧困を終わらせる	何歳であっても、健康で安心して満足以上暮らせるようにする	誰もが平等に質の高い教育を受けられるようにし、誰もが生涯にわたってあらゆる機会に学習できるようにする	ジェンダーが平等であるようにし、すべての女性及び女兒に力を与える	自然資源が守られ、みんなが参加できる経済成長を進め、すべての人が働きがいのある人間らしい仕事をできるようにする
【キーワード】 ・ <u>社会保障</u> ・ <u>融資、助成</u> ・ <u>自立サポート</u>	【キーワード】 ・ <u>健康、福祉</u> ・ <u>病気やケガの抑制</u> ・ <u>大気汚染の防止</u>	【キーワード】 ・ <u>教育機会</u> ・ <u>啓発</u>	【キーワード】 ・ <u>ジェンダー平等</u>	【キーワード】 ・ <u>業務効率化</u> ・ <u>ライフワークバランスの推進</u> ・ <u>就労支援</u> ・ <u>経済振興</u>

【各ゴールの内容（その他のゴール）】

産業と技術革新の基盤をつくろう	人や国の不平等をなくそう	平和と公正をすべての人に
		
災害に強いインフラをつくり、みんなが参加できる持続可能な経済成長を進め、新しい技術を生み出しやすくする	国と国の間にある不平等や、国の中での不平等を減らす	持続可能な開発のため、平和でみんなが参加できる社会をつくり、すべての人が司法を利用でき、地域・国・経済のどのレベルにおいても、きちんと実行され、必要な説明がなされ、誰もが対象となる制度をつくる
【キーワード】 ・ <u>技術発展</u> ・ <u>研究開発</u> ・ <u>ICT 技術の活用</u> ・ <u>地域の技術力向上</u>	【キーワード】 ・ <u>教育</u> ・ <u>社会保障</u> ・ <u>正しい知識（人権）</u> ・ <u>ハラスメント防止</u> ・ <u>社内制度の整備</u>	【キーワード】 ・ <u>平和</u> ・ <u>充実した制度の整備と理解</u> ・ <u>サイバーセキュリティ</u> ・ <u>リスク管理</u>

●令和6年度環境貢献の取組一覧（各課の取り組み）

令和6年度環境貢献の取組一覧（組織順）						
課名	優先課題	課の目標	取組の概要	SDGsのゴール		評価
				最も関連のあるゴール	将来的な達成につながるゴール	
企画経営課	③	コピー用紙の使用量を減らす	市刊行物・資料等の電子化の推進	12	7,15	一部達成
財政課	③	紙の使用量を削減する。	事務処理や刊行物の電子化の割合を高め、紙の使用量の削減に努める。	12	13,15	一部達成
情報推進課	③	LoGoフォーム活用の推進	LoGoフォーム導入後、利用部署は年々増加している。より多くの部署が様々なフォームを作成し、利用用途の拡大に繋げていくことを目標とする。	8	12,15	達成
市長室	③	MicrosoftTeamsの活用の推進	MicrosoftTeamsを活用し、業務効率化を図る	9	8,12,15	達成
広報メディア課	②	夏場における熱中症予防の呼びかけを行う	多様な媒体を用いた呼び掛けの実施	13	3,7,11	達成
広報メディア課	③	電子媒体を活用した周知、啓発	YouTube「三鷹市公式動画チャンネル」、市公式Xなどを活用した情報発信	12	7,13,15	達成
政策法務課	③	紙の使用量を抑える。	コピーやプリントの際に両面及び2in1印刷並びに裏紙利用を心がけることにより、紙の使用量を抑える。電子会議、会議資料のペーパーレス化を推進する。	15	12,13	一部達成
職員課	②	職員の時間外勤務の縮減と年次有給休暇の取得の促進	各課の主体的な業務改善、職員の意識改革、働きやすい職場環境づくりなどに取り組むことにより、職員の時間外勤務の縮減と年次有給休暇の取得の促進を図る。	8	3,5,13	一部達成
契約管理課	②	公共施設の資源エネルギーの有効利用	太陽光発電による資源エネルギーの活用・市民センター内の省エネルギーの推進・低公害車（電気自動車）の積極的な利用等	7	12,13	達成
防災課	②	気候変動に対する適応策の推進	災害対応に向けた危機管理体制の強化	11	3,11,13,17	一部達成
防災課	③	食品ロス対策事業の実施	備蓄品の適正な管理・利用の推進	11	2,3,12,13	一部達成
安全安心課	③	安全安心パトロール車のアイドリングストップ機能を活用するとともに、急発進や急加速しないなど、エコドライブを心がける。	安全安心パトロール車のアイドリングストップ機能を活用するとともに、エコドライブを心がける。	13	3,7,11,12,16,17	一部達成
土地対策課	③	出張や市内移動は、自転車や電気自動車を使用する。	電気自動車等の利用により、天然資源をつかわない方法に取り組む。また、電気自動車の電気供給電源装置（余剰電力）を有効活用する。	7	7,12	達成
相談・情報課	③	紙使用量の削減の推進	コピーや印刷の際は、両面及び裏紙利用を心がけることで、紙の使用量を抑える。また、コピー機は使用の都度設定を確認し、ミスコピー等の防止に努める。	15	7,12,13	達成
労働安全衛生課	③	ペーパーレス化の推進	Teamsやウェブ会議を積極的に活用する。また裏紙使用、集約印刷、両面印刷を意識し、紙使用料の削減を図る。	12	11,13	一部達成
市民課	③	持続可能な地域社会の形成を推進する 市民のライフスタイルや価値観の多様化に適応した取組を推進する	①コンビニ交付の利用率を高め、省資源化を図る ②キャッシュレス決済の利用促進により、利便性の向上を図る	11	7,9,12,13,15	一部達成
市民税課	③	電子申告、電子申請などの普及をはかる。	法人市民税の申告書の提出や個人住民税に係る給与支払報告書の提出などの電子化を推進する。	15	13	達成

資産税課	③	ペーパーレス、電子申告等の推進	・市税総合窓口の開設及びフリーアドレス化に伴うペーパーレスの推進 ・電子申告、電子申請の推進	15	12,13	達成
納税課	③	納付方法拡大による納付の促進及びオンラインを活用した滞納整理に取り組み、業務の効率化と省資源化を図る。	クレジットカード納付・キャッシュレス決済の利用促進・オンラインを活用した滞納整理	12	11,15,17	達成
保険課	③	納付方法拡大による納付の促進及びオンラインを活用した滞納整理に取り組み、業務の効率化と省資源化を図る。	・市民課との窓口一本化に向けた取り組みを進め、円滑な手続きを実現し、市民サービスの向上を図る。 ・文書起案・回覧の電子化。裏紙の使用等により、紙使用量の削減に貢献する。	3	1,6,7,10,15	一部達成
コミュニティ創生課	①	公共施設の設備更新における積極的な省エネ機器の導入の推進	所管施設の昇降機や空調、照明等の設備更新に際して、省エネルギー性能の高い機器を採用し、施設利用者の利便性を確保しつつ資源の有効活用を図る。	7	3,7,11,12,13,17	達成
環境政策課	①	エネルギー施策の推進	新エネルギー・省エネルギー設備設置助成金の実施	7	11,13,17	達成
環境政策課	①	みたか環境活動推進会議の運営	協働による環境啓発事業の実施、人財の育成	17	4,11,12,13,14,15	達成
環境政策課	①	環境会計導入等、環境活動の効果及び評価方法の検討	—	12	7,11,13,14,15	達成
環境政策課	①	環境学習事業の推進	環境問題や環境保全をテーマにした学習事業を検討・実施する。	12	4,11,13,14,15,17	達成
環境政策課	①	環境基金を活用した環境活動の普及・啓発活動の推進	顕彰事業の実施	4	11,12,13,14,15,17	達成
環境政策課	①	公共施設の資源エネルギーの活用	第4期三鷹市地球温暖化対策実行計画（第1次改定）の推進 省エネルギー法及び東京都地球温暖化報告書制度によるエネルギー使用量の把握と削減	13	7,11,12,15,17	達成
環境政策課	①	三鷹ネットワーク大学との協働の推進	三鷹ネットワーク大学との協働による環境講座(省エネルギー講座)を開催する	4	7,11,13,17	達成
環境政策課	①	ゼロエネルギータウン奨励事業の実施	「2050年温室効果ガス排出量実質ゼロ」に向けた取組の実施	11	7,13,17	達成
環境政策課	①	環境マネジメントシステムの運用	・環境マネジメントシステムの運用 ・簡易版環境マネジメントシステムの運用	13	2,6,7,11,12,13,14,15,17	達成
ごみ対策課	①	クリーンプラザふじみでごみの焼却時に発生する熱を利用したエネルギー回収の推進	クリーンプラザふじみの発電機能を活かし、電力を有効活用する。	7	9,11,12,13,17	達成
ごみ対策課	③	プラスチック類資源化の推進	プラスチックごみの削減と、再資源化に向けた分別のための啓発活動を行う。	11	4,9,12,13,14,15,17	達成
ごみ対策課	③	環境基金を活用した環境活動の普及・啓発活動の推進	排出抑制事業（家庭用生ごみ処理装置等購入費助成）	11	12,13,15	達成
ごみ対策課	③	環境基金を活用した環境活動の普及・啓発活動の推進	再生資源集団回収事業を推進する。	11	12,13	達成
ごみ対策課	③	市民との協働によるごみ減量・資源化等のキャンペーンなどの推進・展開	市民との協働によるごみ減量・資源化等のキャンペーンなどの推進・展開する。	11	4,12,13	達成
ごみ対策課	②	植物由来原料を使用したごみ袋（指定収集袋）の導入	家庭系・事業系指定収集袋にバイオマスポリエチレンを使用する。	13	7,9,12,14,17	達成
ごみ対策課	③	食品ロス削減プロジェクトの推進	フードドライブ活動の支援及び食品ロス削減のための啓発活動を行う。	12	1,2,3,10,11,17	達成
生活経済課	①	中小企業等産業活性化補助金の実施	三鷹商工会と連携して、市内事業者が実施するグリーン、デジタル、レジリエンスに資する取組等に対して補助金を交付する。	9	3,7,9,11,12,13,17	達成
都市農業課	②	気候変動に対する適応策の推進	農地等の保全・活用の推進	11	2,8,9,12,13,15,17	一部達成
都市農業課	②	生物多様性の保全と利用の取り組み	「農のある風景」の保全	13	2,8,9,12,15,17	一部達成
都市農業課	②	都市農地の保全・活用	三鷹市優良農地育成事業	15	2,9,12,13,17	達成
芸術文化課	②	クリーンプラザふじみでごみを焼却した際に発生する熱を利用したエネルギー回収の推進	三鷹中央防災公園・元気創造プラザにおいて、クリーンプラザふじみでごみを焼却した際に発生する熱を利用したエネルギー回収を推進する。	7	3,11,12,13,17	達成

令和6年度環境貢献の取組一覧(組織順)						
課名	優先課題	課の目標	取組の概要	SDGsのゴール		評価
				最も関連のあるゴール	将来的な達成につながるゴール	
芸術文化課	③	芸術文化施設におけるごみ排出抑制・省エネルギーの取り組みの推進	芸術文化施設利用者へのごみの持ち帰り依頼、施設職員へのクールビズ・ウォームビズの実施要請	12	11,17	達成
生涯学習課	②	三鷹らしい景観の保全・創出	三鷹まるごと博物館～三鷹型エコミュージアム事業～の推進	11	4,13,15,17	達成
生涯学習課	②	省エネルギー活動を推進する人財の育成	省エネルギーに関する講座を開催する	13	4,12,15,17	達成
生涯学習課	②	生物多様性の保全と利用の取り組み	大沢の里古民家を活用した体験事業等の実施	15	4,11,13,17	達成
生涯学習課	②	生物多様性の保全と利用の取り組み	三鷹まるごと博物館～三鷹型エコミュージアム事業～の推進	15	4,11,13,17	達成
生涯学習課	②	緑の保全や地域緑化活動などを担うボランティアの養成	大沢の里古民家周辺の緑化活動の推進	15	4,11,13,17	達成
スポーツ推進課	③	各種事業の申込受付や通知の電子化の推進	各種事業の申込受付方法として、LOGOフォームや電子メール等を活用する。また、各種案内・通知等についても電子メール等を活用する。	15	3,4,7,8,	達成
スポーツ推進課	②	夏場における安全なスポーツ活動の推進(熱中症対策)	スポーツ施設の利用者に対して熱中症予防の呼びかけを行う	13	3,4,8,	一部達成
地域福祉課	③	リサイクルの推進	・通知や資料の電子化、両面印刷の活用、裏紙使用などにより紙の使用量を削減する。 ・その他消耗品について、所管内や庁内に再利用品があれば積極的に使用する。また、購入時はグリーン購入を推進する。	12	7,13,15	一部達成
障がい者支援課	③	会議等における紙使用量の削減	課で所管する会議等や日々の業務において、コピー用紙の使用量の削減を図る。	7	12,13,15	達成
高齢者支援課	②	公用車のガソリン使用量の削減	通勤や出張の際に、公共交通機関や自転車(電動式を含む)の利用を心掛ける	13	7,11,12,14,15	一部達成
生活福祉課	②	生活困窮者自立相談支援事業を深化推進する。	気候変動の影響により厳しい環境に置かれる生活困窮者に対して、自立相談支援事業を継続的に推進することにより、貧困をなくす等の目標達成を目指す。	1	2,3,4,8,10,11,12	達成
健康推進課	②	気候変動に対する適応策の推進	熱中症対策を強化し、普及啓発に努め、市民の健康と安全を守る	13	3	達成
介護保険課	③	ペーパーレス化を推進する。	・2in1印刷、白黒・2色印刷、プレビュー確認等による紙使用量の削減を行う。 ・業務連絡や資料の作成・共有にTeamsやSharePointを活用する。 ・電子起案を推進する。	13	7,12,15	一部達成
児童青少年課	②	子ども宅食事業の推進	フードバンクみたかと連携し、子ども宅食事業を実施する。	1	2,3,10,11,17	達成
児童青少年課	②	省エネルギー活動を推進する人財の育成	省エネルギー活動を推進する人財の育成	11	4,12,13,17	達成
子ども育成課	③	適正な紙消費の推進	会議等や日々の業務において、コピー用紙の使用量の削減を図る。	7	12,13,15	達成
子育て支援課	③	会議等で使用する資料の簡素化	事務研等の会議及び決裁等の起案において、一層ペーパーレス化を推進する。	15	12,13	一部達成
保育支援課	③	紙使用量の削減	コピー用紙の消費量を削減する。	15	7,12,13	一部達成
子ども家庭課	③	電子媒体の割合を高めることで、効率化と省資源化を図る。	会議や打ち合わせに使用する資料を簡素化し、積極的にチームス、ロゴフォームの活用をしていく。	13	7,8,12,15	一部達成
公共施設課	②	エネルギー施策の推進	公共施設の省エネルギー推進	13	3,6,7,11,12	達成
道路管理課	②	バリアフリーのまちづくりの推進	道路のバリアフリー化	11	3	達成
道路管理課	②	気候変動に対する適応策の推進	生活環境に配慮した舗装の整備	13	6	達成
建築指導課	②	省エネ関係法令の適切な運用	建築物省エネ法に基づく届出や低炭素建築物の認定、長期優良住宅の認定等の審査指導を適切に行う。	7	12,13	達成
水再生課	②	気候変動に対する適応策の推進	都市型水害対策の推進	11	6,12,13,14	達成

緑と公園課	②	都市農地の保全・活用	農地の保全に向けた基本方針の取り組み	15	11	達成
緑と公園課	②	気候変動に対する適応策の推進	災害に強い公園づくりの推進	13	11	達成
緑と公園課	②	生物多様性の保全と利用の取り組み	生きものの生息地(生物資源)の保全・創出に努めることによる緑の「質」的な価値の向上	15	11,13	達成
緑と公園課	②	緑と水のネットワークの構築	ふれあいの里事業	11	3,6,14	達成
緑と公園課	②	緑の保全や地域緑化活動などを担うボランティアの養成	新しい生活様式へ対応した良質な都市空間、居住環境を保全・創出していくための協働の推進	17	3,11,15	達成
都市計画課	③	三鷹らしい景観の保全・創出	景観法及び景観条例等に基づいて三鷹らしい景観づくりを行う。	11	15,17	達成
都市計画課	③	バリアフリーのまちづくりの推進	バリアフリーのまちづくり基本構想2022(第2次改定)に基づきバリアフリーを推進する。	11	3,10	達成
都市交通課	②	自家用車の総量抑制	自転車の利用環境の整備	11	7,13,17	達成
都市交通課	②	公共交通環境の整備	みたかバスネットの推進	11	13,17	達成
まちづくり推進課	③	コピー用紙の使用量の減	真に必要な枚数のみの印刷、両面印刷やページ割付け印刷の活用、裏紙の再利用	12	15	達成
まちづくり推進課	②	生物多様性の保全と利用の取り組み	北野の里(仮称)を含む、ふれあいの里(大沢の里・牟礼の里・丸池の里)の整備と活用	15	3,11	達成
住宅政策課	②	住宅の耐震化の推進	耐震費用の一部助成により、安全安心で災害に強いまちづくりを推進する。	11	9,12	一部達成
会計課	③	クリップの再利用・再分配	全庁から集まる伝票に使われたクリップを、再分配する。	12	7,13,15	達成
総務課	③	環境マネジメントシステムの運用	学校版環境マネジメントシステムの運用	13	4,7,12,17	一部達成
総務課	①	公共施設の資源・エネルギーの有効利用	学校施設への省エネルギー設備の導入	7	4,9,11,12	達成
学務課	②	小中一貫した質の高い学校教育の推進	・義務教育の円滑な実施のため、必要な経済的援助を行う。 ・安全でおいしい学校給食の充実と効率的な運営を行う。 ・様々な子どもの状況に応じたきめ細かな相談支援の充実を図る。	4	1,2,3,10,11,12,15,16	達成
指導課	③	Web会議やLoGoチャット等を活用することで、エネルギー使用量を抑え、3に努める	Zoom等を活用し、Web会議を推進することで、参加者の移動に伴うエネルギー使用量を抑えるとともに資料の電子化により再生紙等の使用料を減らし3に努める	15	7,11,13,15,17	達成
教育政策推進室	③	書類の電子化を推進し、3と業務の効率化を図る。	アンケートの実施や提出物について、紙の使用を極力減らすためにロゴフォーム等電子化を進め、3と業務の効率化を図る。また、動画配信などを活用する。	7	4,8,9,12,13	達成
議会事務局	③	議会資料等の紙の削減	紙の再利用、両面印刷の推進及び局内で印刷する資料の冊数の精査等により、紙の使用量を抑える。	13	7,12,15	一部達成
選挙管理委員会事務局	③	選挙管理委員会資料等の紙の削減	選挙管理委員会資料等、局内で印刷する資料の冊数を精査し、紙の使用量を抑える。	7	12,13,15	一部達成
選挙管理委員会事務局	③	所管する公用車使用に係るガソリン使用量の抑制	平常時及び選挙時に使用する公用車(選管所管)の運転においてアイドリングストップ等により、ガソリンの使用量を抑える。	7	12,13,15	一部達成
監査事務局	③	監査資料等の紙の削減	印刷文書を見直し、紙の使用量の削減に努める。	15	7,12,13	達成

評価状況：達成 65 件、一部達成 24 件、一部着手 0 件、未着手 0 件

三鷹市環境レポート2025

令和7年8月発行

(令和6年度の取り組みの成果)

編集 三鷹市生活環境部環境政策課

三鷹市野崎一丁目1番1号

Tel 0422-29-9612

Fax 0422-45-5291

E-mail kankyo@city.mitaka.lg.jp

この冊子や市の環境施策に対する、ご意見・ご要望は上記までお願いします。